

# 米国小型株ツイン $\alpha$ (資産成長型)

追加型投信／海外／株式

繰上償還 第8期 2021年4月2日償還  
作成対象期間 (2020年11月13日～2021年4月2日)

第8期末 (償還日 2021年4月2日)	
償還価額	16,793円52銭
純資産総額	195百万円
第8期	
騰落率	+23.1%
分配金	—

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「米国小型株ツイン $\alpha$  (資産成長型)」は、信託約款の規定に基づき、2021年4月2日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、主に円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国の小型株へ実質的に投資するとともに、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、インカムゲインと高水準のオプションプレミアムの確保、ならびに信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→  
ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

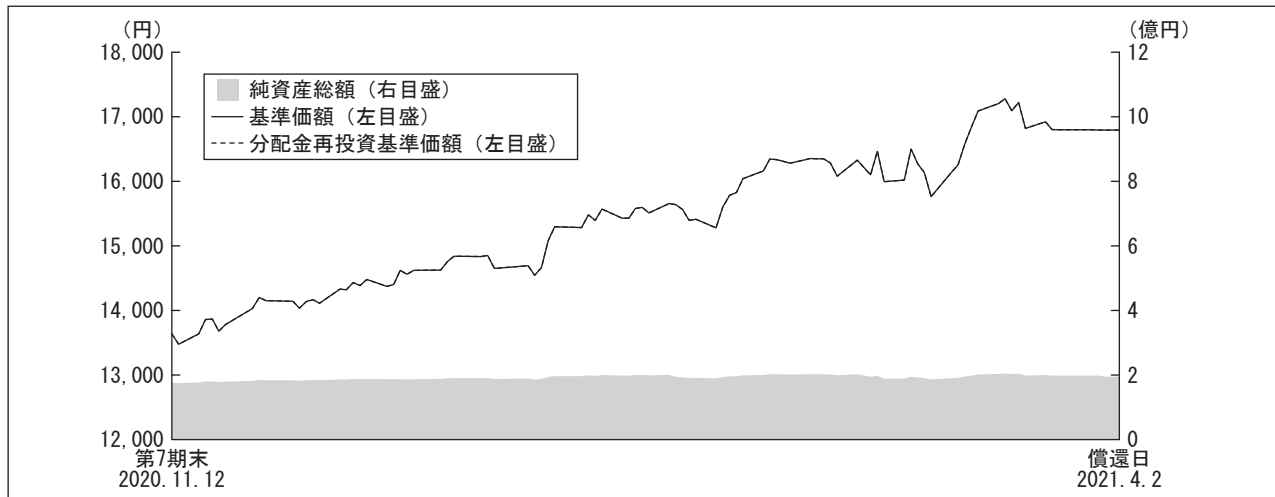


三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第8期首：13,637円

償還日：16,793円52銭（既払分配金 ー）

騰落率：+23.1%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、US Small Cap Equity Premium Fundへの投資を通じて、主に米国の小型株へ実質的に投資するとともに、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせ運用を行いました。

（上昇要因）

米国小型株ETFの価格の上昇や為替が円安・米ドル高となったことが要因となりました。

（下落要因）

通貨カバードコール戦略や株式カバードコール戦略が要因となりました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2020年11月13日～2021年4月2日		
	金額	比率	
信託報酬	90円	0.584%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,398円です。
（投信会社）	(39)	(0.255)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(49)	(0.319)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	( 2)	(0.011)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.004	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	( 1)	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	91	0.588	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

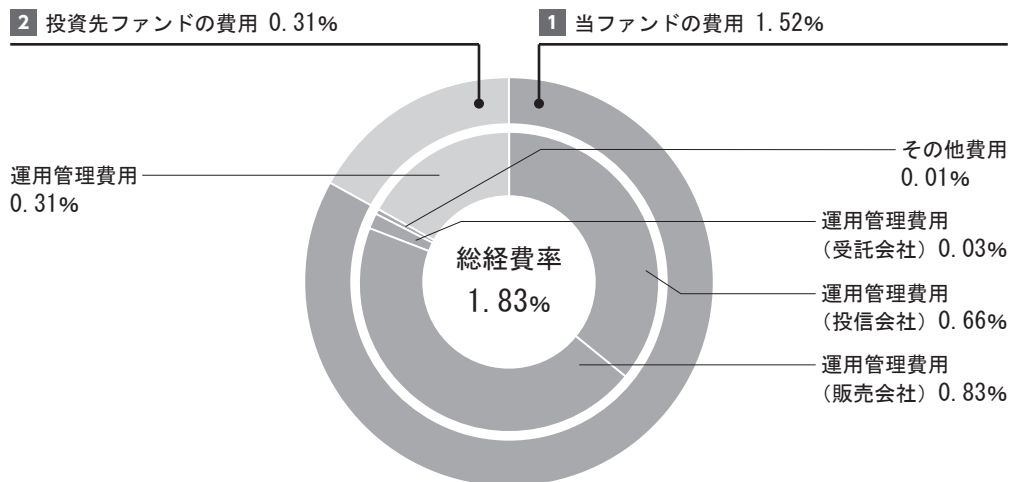
\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 参考情報 総経費率（年率換算）

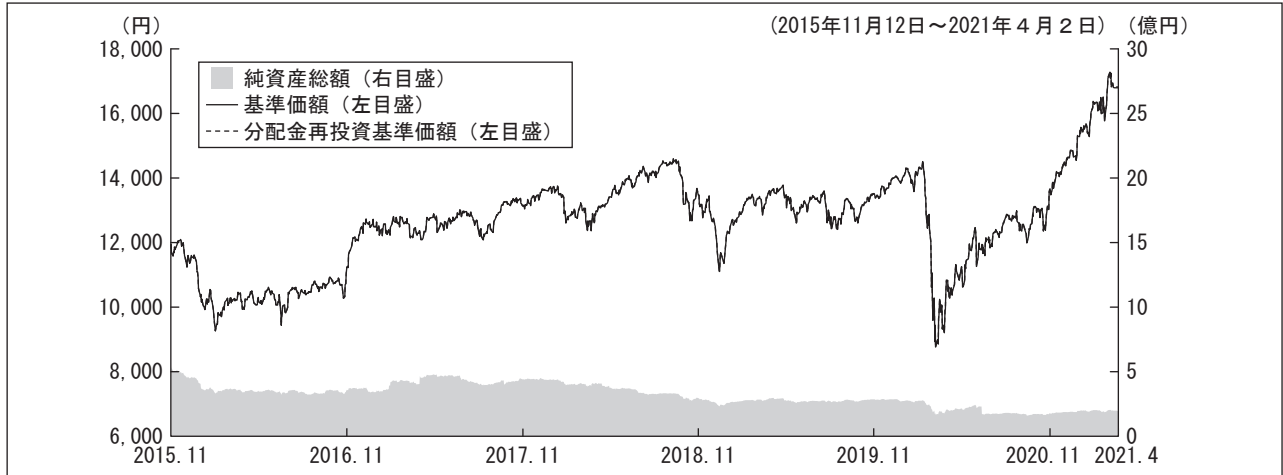


総経費率（1 + 2）	1.83%
1 当ファンドの費用の比率	1.52%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	—%

- \* 1の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- \* 2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- \* 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- \* 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.83%です。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、2015年11月12日の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年11月12日 期初	2016年11月14日 決算日	2017年11月13日 決算日	2018年11月12日 決算日	2019年11月12日 決算日	2020年11月12日 決算日	2021年4月2日 償還日
基準価額 (円)	11,947	11,227	13,116	13,465	13,497	13,637	16,793.52
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	10	10	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 5.9	16.9	2.7	0.2	1.0	23.1
純資産総額 (百万円)	539	356	440	294	286	177	195

## 【投資環境】

当期の米国株式市場はS&P500種株価指数、ラッセル2000指数はともに上昇し、堅調に推移しました。期初は主要イベントである米大統領選挙を当初の予想ほど混乱なく通過し、安堵感が広がる中、新型コロナウイルスのワクチン開発において高い有効性を示す治験結果が公表され、ワクチンの実用化に向けて進展がみられたことや、金融緩和政策の長期化観測などに支えられ、米国株式は堅調に推移しました。2020年12月には主に米国、英国で新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、本格的な経済正常化への期待に加え、米国で追加景気対策が合意に達したことも好感され年末にかけて投資家のリスク選好姿勢が強まりました。2021年に入ってもリスク選好の流れは継続し、バイデン米政権による大規模な追加経済対策への期待などを背景に株価は高値更新を重ねました。2月後半にインフレ観測の高まりにより主要国の長期金利が押し上げられ軟調となる場面もありましたが、償還日にかけては大型の米追加経済対策の可決を受けて、株価は堅調さを取り戻しました。

当期の米ドルは、対円で上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大や、FRB（米連邦準備制度理事会）の超緩和政策の継続などが米ドルの下落材料となりましたが、市場予想を上回る小売売上高など好調な米経済指標や、新型コロナウイルスのワクチン普及に加え、米国で1.9兆米ドル規模のコロナ追加経済対策法が成立し、景気回復への期待などから、米長期金利が上昇し、米ドルの魅力が増したことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。

国内短期金融市場では、期首-0.10%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%~-0.12%内での動きに終始し-0.10%近辺で償還日を迎えました。

## 【ポートフォリオ】

### ■米国小型株ツインα（資産成長型）

主要投資対象であるUS Small Cap Equity Premium Fundを期を通じて組み入れました。その後、2021年4月の償還に向けて売却し、2021年4月2日に繰上償還いたしました。

### ■US Small Cap Equity Premium Fund

当期のパフォーマンスはプラスとなりました。内訳としては、米国小型株ETFの価格変動による効果、為替変動要因による効果がプラスとなった一方、株式カバードコール戦略による効果、通貨カバードコール戦略による効果がマイナスとなりました。

### ■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

**【ベンチマークとの差異】**

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**【分配金】**

分配金につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

## お知らせ

該当事項はございません。

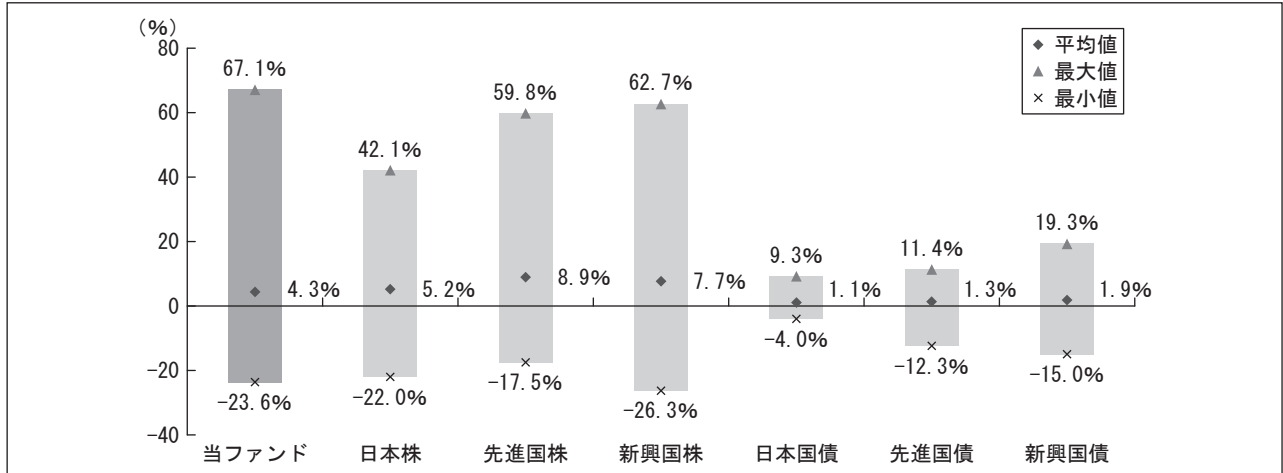
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年11月25日から2021年4月2日（当初、2023年11月13日）までです。	
運用方針	主に円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国の小型株へ実質的に投資するとともに、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、インカムゲインと高水準のオプションプレミアムの確保、ならびに信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行う場合があります。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・US Small Cap Equity Premium Fund受益証券</li> <li>・マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券</li> </ul>
	US Small Cap Equity Premium Fund	担保付スワップ取引を通じた、米国小型株指数（原則としてラッセル2000指数）を対象としたETF、米国小型株市場全体にかかるオプション取引、通貨オプション取引
	マネー・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。</li> <li>・US Small Cap Equity Premium Fundへの投資比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・株式への実質的な投資に加えて、主として担保付スワップ取引を通じた株式カバードコール戦略と通貨カバードコール戦略の組み合わせであるツインα戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年11月12日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	



## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

（2016年4月～2021年3月）



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

（注）上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## 当該投資信託のデータ

## ≪当該投資信託の組入資産の内容≫

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

## 【純資産等】

項目	償還時
	2021年4月2日
純資産総額	195,064,392円
受益権総口数	116,154,555口
1万口当り償還価額	16,793円52銭

\* 当期中における追加設定元本額は1,281,377円、同解約元本額は15,049,482円です。